

高知県感染症発生動向調査（週報）

2017年 第8週（2月20日～2月26日）

★お知らせ

○インフルエンザに気を付けて！

高知県全域で注意報値である10.0を超えています。

定点医療機関当たりの報告数は第7週の33.67から第8週では24.02と減少しました。

須崎で増加し、その他の地域では減少しましたが、須崎では警報値を超え、県全域と高知市、中央西、幡多、中央東では注意報値を超えていることから引き続き注意が必要です。

迅速検査ではインフルエンザA型が98.9%、B型1.1%と、B型の割合が少しずつ増えてきています。

病原体検出情報では第8週に搬入された検体で須崎からInfluenza virus A H3 NTが計3件とInfluenza virus B/Yamagataが1件、高知市からInfluenza virus B/Victoriaが1件検出されています。

学校等における集団発生の報告では休校、学年、学級閉鎖の報告がまだ続いています。

全国では定点医療機関当たりの報告数が第6週の28.57から第7週では23.92と横ばいです。

国内のインフルエンザウイルスの検出状況は、直近の5週間（2017年第3～7週）ではAH3亜型の検出割合が最も多く92.53%、次にB（ビクトリア系統）が4.04%、B（山形系統）1.71%、AH1pdm09が1.35%、B（系統不明）が0.37%の順でした。

インフルエンザの報告数は減少していますが、流行は続いていますので、引き続き、外出後の手洗いなどの感染予防を心がけましょう。

症状がある方は咳エチケットを心がけ、早めに医療機関を受診しましょう。また、適度な湿度の保持、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取、人ごみを避けるなどの対策も感染予防には有効です。

高知県の保健所別の定点当たり報告数と警報・注意報レベル状況（2017年第8週）

	今週		1週前		2週前		3週前		4週前		5週前		6週前	
	第8週		第7週		第6週		第5週		第4週		第3週		第2週	
	定当	状況												
高知県全域	24.02	○	33.67	△	41.63	△	50.60	△	39.94	△	28.75	○	14.25	○
安芸	7.25	-	14.50	○	26.75	○	26.25	○	32.00	△	21.00	○	12.00	○
中央東	16.00	○	30.73	△	37.82	△	34.91	△	36.27	△	24.91	○	8.73	-
高知市	28.38	○	39.31	△	52.06	△	67.44	△	48.88	△	31.00	△	20.56	○
中央西	28.00	○	40.80	△	52.40	△	69.00	△	40.80	△	28.40	○	13.20	○
須崎	40.75	△	37.00	△	37.25	△	38.25	△	21.75	○	13.50	○	9.00	-
幡多	23.88	○	29.88	○	28.88	○	45.38	△	39.63	△	41.25	△	13.63	○

注意報値：○（10以上30未満） 警報値：△（30以上）

学校等における集団発生

※感染症情報収集システム

保健所		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計
休校	第8週	0	0	0	0	1	0	1
	累計	3	0	0	1	3	1	8
学年閉鎖	第8週	1	0	2	0	3	2	8
	累計	11	5	16	5	12	12	61
学級閉鎖	第8週	0	0	7	0	1	0	8
	累計	2	3	63	4	2	6	80

インフルエンザの飛沫感染対策【咳エチケット】

インフルエンザの主な感染経路は咳やくしゃみの際に口から発生する水滴（飛沫）による飛沫感染であることから、感染予防のため以下の咳エチケットに心がけてください。

- 咳・くしゃみが出たらマスクをしましょう。
- 鼻汁・痰などを含んだティッシュはフタつきのゴミ箱に捨てましょう。
- 咳・くしゃみをおさえた手、鼻をかんだ手は直ちに洗いましょう。
- 咳をしている人にマスクの着用をお願いします。
- マスクの装着は説明書を読んで、正しく着用しましょう。

■ 飛沫感染対策ではマスクは重要です。特に感染者がマスクをすることが、感染の拡散を抑える効果が高いと言われています。

●厚生労働省 「平成28年度今冬のインフルエンザ総合対策について」
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/influenza/index.html>

●厚生労働省 「平成28年度インフルエンザ Q&A」
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/qa.html>

○A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎に気を付けて！ 幡多で注意報値である 4.00 を超えています。

定点医療機関からの報告数は第7週の3.07から第8週では2.20と減少しています。幡多で増加し、幡多では注意報値を超えています。

定点医療機関からのホット情報では11例の報告があり、うち2例はインフルエンザA型と溶連菌感染症の同時感染でした。また、病原体検出情報では第7週に搬入された検体で高知市から *Streptococcus pyogenes Untypable* が1件検出されています。

感染症情報収集システム※でも18例の報告があることから、引き続き注意が必要です。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる細菌を吸い込むことによる飛まつ感染、あるいは、細菌が付着した手で口や鼻に触れることによる接触感染が主な感染経路です。

乳幼児では咽頭炎、年長児や成人、特に妊婦では扁桃炎が現れ重症化することもあるため、うがい、手洗いなどの一般的な予防法を励行しましょう。

○咽頭結膜熱に気を付けて！

幡多で注意報値である 1.00 を超えています。

定点医療機関当たりの報告数は第7週の0.33から第8週は0.23と減少しています。幡多で増加し、幡多では注意報値を超えています。

感染経路は通常、飛まつ感染または手指を介した接触感染です。

以下のことに気を付け、感染予防に努めましょう。

- 1)流水と石けんによる手洗い、うがいを励行しましょう。
- 2)感染者との密接な接触は避けましょう。
- 3)タオル等は別のものを使いましょう。

○感染性胃腸炎に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第7週の6.27から第8週では4.70と減少しています。県全域から報告があり、安芸、幡多、須崎で増加しています。

定点医療機関からのホット情報でノロウイルス6例の報告があり、うち1例はロタウイルスとノロウイルスの同時感染でした。カンピロバクター+病原性大腸菌o-1腸炎1例に加えて、感染性胃腸炎が多いとの報告もあります。感染症情報収集システム※でも33例の報告があることから、今後も引き続き注意が必要です。

ノロウイルスによる胃腸炎では、主な症状は吐き気、嘔吐、下痢、発熱、腹痛であり、小児では嘔吐、成人では下痢が多いです。特に乳幼児や高齢者、体力の低下している方は下痢、嘔吐などで脱水症状を起こすことがありますので、早めに医療機関を受診してください。通常は1週間以内に回復しますが、症状消失後も1週間程度、長いときには1ヶ月程度ウイルスの排泄が続くことがあります。

例年、3月から5月頃にかけて乳幼児を中心にロタウイルスによる胃腸炎の流行が認められるようになります。ロタウイルスによる胃腸炎では、嘔吐、下痢、発熱がみられ、乳児ではけいれんを起こすこともあります。感染しても発症しない場合や、軽い風邪のような症状の場合もあります。

ロタウイルスによる感染症の予防対策には予防接種があり、乳幼児を中心に受けることができますので、かかりつけの医療機関にご相談ください（任意接種）。

感染経路は、病原体が付着した手で口に触れることによる感染（接触感染）、汚染された食品を食べることによる感染（経口感染）があります。

予防には手洗いが有効です。帰宅時や調理・食事前、トイレの後には石けんと流水でしっかりと手を

洗いましょう。

便や嘔吐物を処理する時は、感染した人の便やおう吐物には直接触れないようにし、使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用し、次亜塩素酸ナトリウムまたは、家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤の使用方法を確認したうえで、キッチンペーパーなどを使用して処理しましょう。処理後は石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

調理をする場合には、中心部まで十分に加熱しましょう。

●厚生労働省 「ノロウイルスに関する Q&A」

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html

●厚生労働省 「ノロウイルス等の食中毒予防のための適切な手洗い（動画）」

<https://www.youtube.com/watch?v=z7ifN95YVdM&feature=youtu.be>

●衛生研究所 「高知県ノロウイルス対策マニュアル」

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/norovirus.html>

●厚生労働省 「ロタウイルスに関する Q&A」

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/Rotavirus/>

○マイコプラズマ肺炎に気を付けて！

基幹定点当たりの報告数は第7週の0.13から第8週では0.25と増加しています。

定点医療機関からのホット情報は2例、感染症情報収集システム※は7例と以前に比べると報告数は減少してはいますが、引き続き注意が必要です。また、病原体検出情報では第8週に臨床診断名：百日咳として搬入された検体で須崎から*Mycoplasma pneumoniae*が計2件検出されています。

感染経路は患者の咳のしぶきを吸いこんだり、患者と身近で接触したりすることにより感染すると言われています。保育園や幼稚園、学校、あるいは家庭内等での伝播がみられます。

予防対策としては、手洗いと咳エチケットです。

※ 感染症情報収集システム：県内小中高等学校における疾病別患者数情報システム

☆ダニの感染症（日本紅斑熱・SFTS・つつが虫病）に注意！

日本紅斑熱やSFTS（重症熱性血小板減少症候群）は比較的大型（吸血前で3～4mm）のマダニが、つつが虫病はツツガムシというわずか0.3mmほどのダニの幼虫が媒介する感染症です。

全てのマダニやツツガムシが病原体を持っているわけではありませんが、これらのダニに咬まれないようにすることが感染の予防になりますので引き続き、注意が必要です。

予防するためのワクチン等はありません。マダニやツツガムシは野外に生息しています。

暖かくなるとダニの活動が活発になりますので、野山や畑、草むらなどに出かけるときは十分注意しましょう。長袖・長ズボンを着用し、シャツの裾はズボンの中に入れ、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる等、肌の露出を少なくし、ダニ用の忌避剤を使用する等して、ダニに咬まれないようにしましょう。

発熱等の症状が出たとき

野山に入ってからしばらくして（数日～2週間程度）発熱等の症状が出た場合、医療機関を受診して下さい。また受診の際、発症前に野山に立ち入ったこと（ダニに咬まれたこと）を申し出て下さい。

●高知県衛生研究所 ダニが媒介する感染症

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

●高知県衛生研究所 マダニによる感染症の注意喚起パンフレットを作成しました。

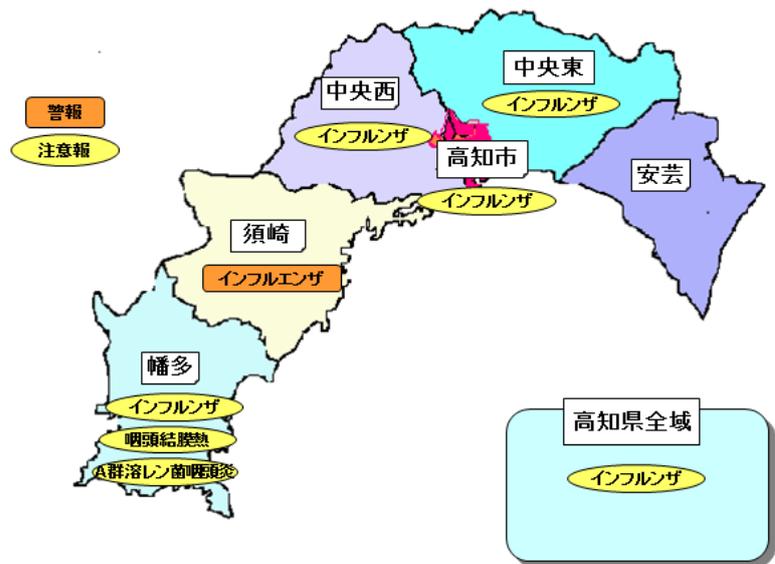
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2016061300063.html>

★県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患） ↑：急増 ↗：増加 →：横ばい ↘：減少 ↓：急減
 8週（2月20日～2月26日）

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
インフルエンザ	↘	24.02	須崎で増加しています。 須崎では警報値を超え、県全域と高知市、中央西、幡多、中央東では注意報値を超えています。
感染性胃腸炎	↘	4.70	安芸、幡多、須崎で増加しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↘	2.20	幡多で増加し、幡多では注意報値を超えています。
RSウイルス感染症	↘	0.30	中央東で増加しています。
突発性発疹	→	0.27	高知市、中央東で増加しています。
流行性耳下腺炎	↗	0.27	安芸、高知市、中央東で増加しています。

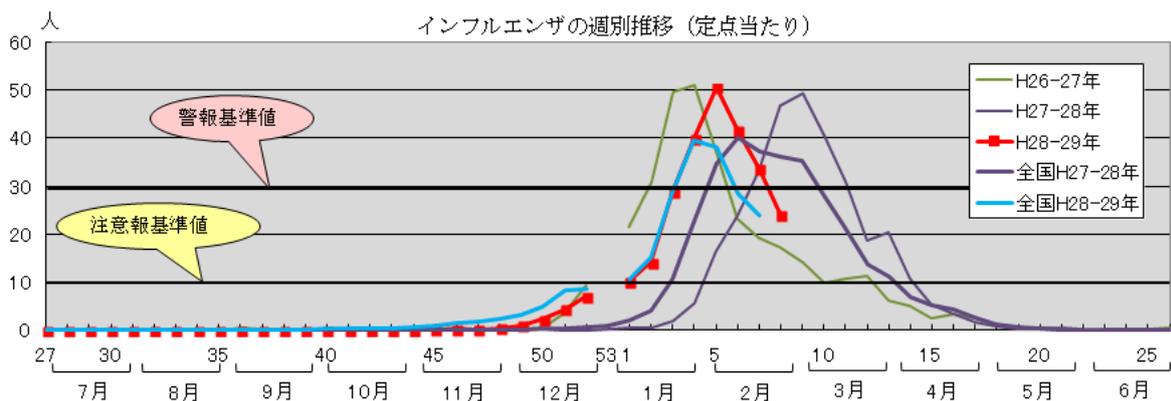
★地域別感染症発生状況



★気を付けて！

○インフルエンザ 第8週：24.02（注意報値：10.00 警報値：30.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり 24.02（前週：33.67）と減少しています。須崎で増加し、須崎 40.75（前週：37.00）では警報値を超え、県全域と高知市 28.38（前週：39.31）、中央西 28.00（前週：40.80）、幡多 23.88（前週：29.88）、中央東 16.00（前週：30.73）では注意報値を超えています。



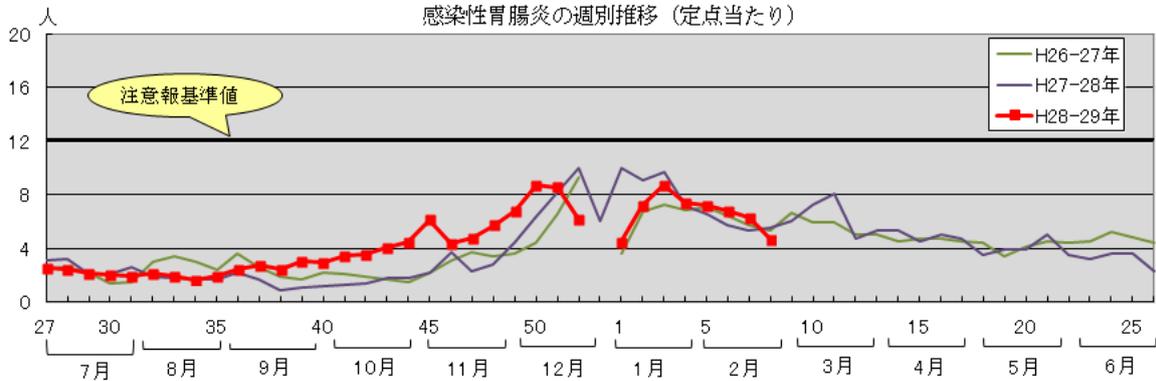
○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 第8週：2.20 (注意報値：4.00 警報値：8.00)

定点医療機関からの報告数は定点当たり 2.20 (前週：3.07) と減少しています。幡多 5.60 (前週：5.20) で増加し、幡多では注意報値を超えています。



○感染性胃腸炎 第8週：4.70 (注意報値：12.00 警報値：20.00)

定点医療機関からの報告数は定点当たり 4.70 (前週：6.27) と減少しています。安芸 9.00 (前週：7.50)、幡多 7.80 (前週：6.20)、須崎 2.50 (前週：1.50) で増加しています。



※グラフの途切れについて

H27-H28 年は第 53 週までであるため、グラフ横軸に第 53 週を挿入しています。

そのため、H26-H27 年と H28-H29 のグラフ第 52 週～第 1 週間に途切れが生じています。

★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
8	伝染性紅斑疑い	5	男	須崎	Human herpes virus 7
8	インフルエンザ	7	女	須崎	Influenza virus A H3 NT
8	インフルエンザ	3	女	須崎	Influenza virus A H3 NT
8	インフルエンザ	52	女	須崎	Influenza virus A H3 NT
8	インフルエンザ	8	男	高知市	Influenza virus B/Victoria
8	インフルエンザ	9	女	須崎	Influenza virus B/Yamagata
8	百日咳	6	男	須崎	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
8	百日咳	9	男	須崎	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
7	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	男	高知市	<i>Streptococcus pyogenes</i> <i>Untypable</i>

★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内容	保健所
2類	結核	1	10	70歳代男	高知市
		1	11	70歳代男	中央西
		1	12	90歳代女	高知市
4類	レジオネラ症	1	1	70歳代男	高知市
5類	後天性免疫不全症候群（HIV感染症含む）	1	1	40歳代男	高知市

※第7週の須崎保健所の結核発生届は1件取り下げとなりました。

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情報
中央東	野市中央病院小児科	インフルエンザは全員A型 7例 (ワクチン済み:5人、ワクチン未:2人)
		ノロウイルス腸炎 1例 (3歳男)
	早明浦病院小児科	RSウイルス感染症 1例 (2歳男)
		溶連菌感染症 2例 (4歳、9歳)
高知市	けら小児科・アレルギー科	マイコプラズマ肺炎 1例 (3歳男)
		カンピロバクター+病原性大腸菌O-1 腸炎 1例 (13歳女)
	高知医療センター小児科	RSウイルス感染症 1例 (1歳女)
		インフルエンザ6例 (1ヶ月男、4歳男、5歳男女、7歳女、12歳男)
	福井小児科・内科・循環器科	インフルエンザA型と溶連菌感染症の同時感染 2例 (3歳男、8歳男)
		インフルエンザA型 49例、B型 0例、ワクチン接種済 7例
		溶連菌感染症 9例 感染性胃腸炎が多い。
	細木病院小児科	ノロ 5歳女
		ノロ・ロタ 5歳男
	中央西	石黒小児科
くぼたこどもクリニック		マイコプラズマ感染症 1例 (12歳男) インフルエンザA (8歳男2人、10歳女、11歳女:須崎市、13歳女:土佐市)
須崎	もりはた小児科	インフルエンザ 82例 全例A型
幡多	さたけ小児科	ノロウイルス 1例 (3歳男)
		h-MPV 1例 (1歳男)
	幡多けんみん病院小児科	インフルエンザ 57例 全てA型 ノロウイルス陽性 2例 (3歳男、6歳女)

★全国情報

第6号（2月6日～2月12日）

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核312例

3類感染症：細菌性赤痢4例、腸管出血性大腸菌感染症5例

4類感染症：E型肝炎8例、A型肝炎4例、つつが虫病1例、デング熱2例、レジオネラ症10例

5類感染症：アメーバ赤痢16例、ウイルス性肝炎2例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症13例、急性脳炎13例、クロイツフェルト・ヤコブ病5例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症9例、後天性免疫不全症候群16例、侵襲性インフルエンザ菌感染症6例、侵襲性髄膜炎菌感染症1例、侵襲性肺炎球菌感染症49例、水痘（入院例に限る）2例、梅毒62例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症2例、風しん1例、麻しん12例、薬剤耐性アシネトバクター感染症1例

報告遅れ：細菌性赤痢1例、腸チフス1例、つつが虫病1例、日本紅斑熱1例、レジオネラ症4例、レプトスピラ症1例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症11例、急性脳炎5例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症5例、水痘（入院例に限る）2例、梅毒32例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症2例、風しん1例

高知県感染症情報(59定点医療機関)

第8週 平成29年2月20日(月)～平成29年2月26日(日)

高知県衛生研究所

定点名 疾病名	保健所							計	前週	全国(7週)	高知県(8週末累計)		全国(7週末累計)	
	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	H29/1/2～H29/2/26				H29/1/2～H29/2/19			
インフルエンザ	29	176	454	140	163	191	1,153 (24.02)	1,616 (33.67)	118,696 (23.92)	11,667 (243.06)	915,981 (184.79)			
小児科	咽頭結核熱			1			7 (0.23)	10 (0.33)	1,136 (0.36)	46 (1.53)	7,068 (2.24)			
	八群溶血性レンサ球菌咽頭炎		4	28	6		66 (2.20)	92 (3.07)	7,918 (2.50)	463 (15.43)	43,195 (13.66)			
	感染性胃腸炎	18	22	54	3	5	39	141 (4.70)	188 (6.27)	17,140 (5.42)	1,582 (52.73)	131,018 (41.45)		
	水痘		1	3			4 (0.13)	10 (0.33)	1,046 (0.33)	102 (3.40)	8,180 (2.59)			
	手足口病						()	2 (0.07)	459 (0.15)	14 (0.47)	3,587 (1.13)			
	伝染性紅斑		1	2			1	4 (0.13)	3 (0.10)	246 (0.08)	37 (1.23)	1,921 (0.61)		
	突発性発疹		1	6	1			8 (0.27)	9 (0.30)	1,232 (0.39)	59 (1.97)	7,926 (2.51)		
	百日咳							()	1 (0.03)	16 (0.01)	7 (0.23)	158 (0.05)		
	ヘルパンギーナ			1				1 (0.03)	()	75 (0.02)	1 (0.03)	564 (0.18)		
	流行性耳下腺炎	1	1	3		3		8 (0.27)	6 (0.20)	2,037 (0.64)	63 (2.10)	14,866 (4.70)		
	RSウイルス感染症		1	3	4		1	9 (0.30)	16 (0.53)	827 (0.26)	143 (4.77)	7,603 (2.41)		
	眼科	急性出血性結膜炎						()	()	9 (0.01)	()	48 (0.07)		
		流行性角結膜炎						()	()	303 (0.44)	5 (1.67)	2,460 (3.55)		
基幹	細菌性髄膜炎						()	()	6 (0.01)	1 (0.13)	61 (0.13)			
	無菌性髄膜炎			2			2 (0.25)	()	16 (0.03)	2 (0.25)	102 (0.22)			
	マイコプラズマ肺炎		1	1			2 (0.25)	1 (0.13)	182 (0.38)	30 (3.75)	1,841 (3.88)			
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)						()	()	5 (0.01)	2 (0.25)	51 (0.11)			
	感染性胃腸炎			1			1 (0.13)	()	83 (0.17)	6 (0.75)	304 (0.64)			
計 (小児科定点当たり人数)	48 (16.75)	208 (20.41)	559 (37.56)	154 (32.66)	171 (44.75)	266 (38.88)	1,406 (32.28)		151,432	14,230 (326.95)	1,146,934			
前週 (小児科定点当たり人数)	73 (22.00)	404 (40.15)	772 (52.21)	237 (51.79)	162 (44.00)	306 (43.28)		1,954 (44.90)						

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(59定点医療機関) 定点当たり人数

定点名 疾病名	保健所							計	前週	全国(7週)	高知県(8週末累計)		全国(7週末累計)	
	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	H29/1/2～H29/2/26				H29/1/2～H29/2/19			
インフルエンザ	7.25	16.00	28.38	28.00	40.75	23.88	24.02	33.67	23.92	243.06	184.79			
小児科	咽頭結核熱			0.09			0.23	0.33	0.36	1.53	2.24			
	八群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.57	2.55	2.00		2.20	3.07	2.50	15.43	13.66			
	感染性胃腸炎	9.00	3.14	4.91	1.00	2.50	7.80	4.70	6.27	5.42	41.45			
	水痘		0.14	0.27				0.13	0.33	3.40	2.59			
	手足口病							()	0.07	0.15	1.13			
	伝染性紅斑		0.14	0.18			0.20	0.13	0.10	0.08	1.23	0.61		
	突発性発疹		0.14	0.55	0.33			0.27	0.30	0.39	1.97	2.51		
	百日咳							()	0.03	0.01	0.23	0.05		
	ヘルパンギーナ			0.09				0.03	()	0.02	0.03	0.18		
	流行性耳下腺炎	0.50	0.14	0.27		1.50		0.27	0.20	0.64	2.10	4.70		
	RSウイルス感染症		0.14	0.27	1.33		0.20	0.30	0.53	0.26	4.77	2.41		
	眼科	急性出血性結膜炎						()	()	0.01	()	0.07		
		流行性角結膜炎						()	()	0.44	1.67	3.55		
基幹	細菌性髄膜炎						()	()	0.01	0.13	0.13			
	無菌性髄膜炎			0.40			0.25	()	0.03	0.25	0.22			
	マイコプラズマ肺炎		1.00	0.20			0.25	0.13	0.38	3.75	3.88			
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)						()	()	0.01	0.25	0.11			
	感染性胃腸炎			0.20			0.13	()	0.17	0.75	0.64			
計 (小児科定点当たり人数)	16.75	20.41	37.56	32.66	44.75	38.88	32.28			326.95				
前週 (小児科定点当たり人数)	22.00	40.15	52.21	51.79	44.00	43.28		44.90						

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）

〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）

TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869